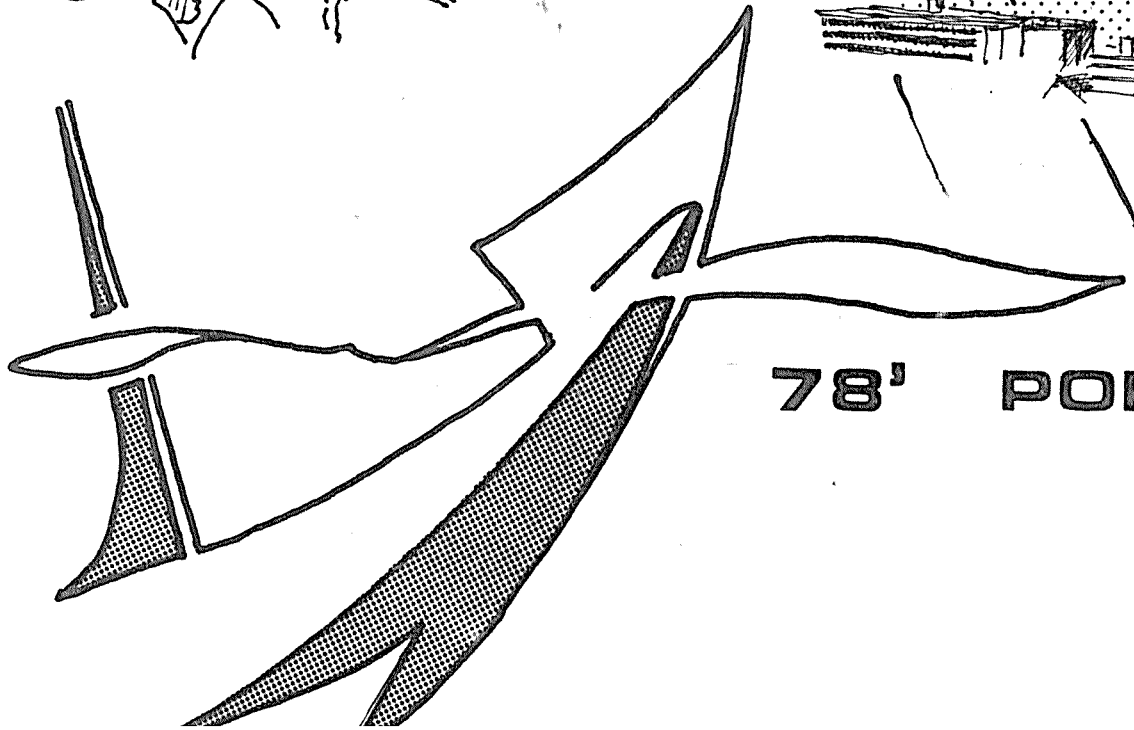


**78' PORT FESTIVAL
IN
OTARU**



78, ポートフェスティバルイン・オタル開催趣意書

永く重かつた冬も過ぎ、梅と桜が一時に咲く北国の春が訪れようとしている今日此頃、皆様様にはなお一層の御精進の事と御喜び申し上げます。

今般、私共は別紙の企画書にて御説明申し上げる様な祭を実行致し度く、その趣旨、意図するところを申し上げます、皆様方の深い御理解、御協力、御支援を賜わり度く存する次第です。

小樽の街には潮祭りを始め、いろいろな神社の祭典があり、初夏から夏にかけて祭りのない日を探すがむずかしい位沢山の祭りがありますが、若者が企画し、実行し、参加出来る祭りとなると2月行なわれている：ウインターフェスティバル：だけではないでしょうか。

そのウインターフェスティバルも3回を終え、ようやく若者の祭りとして市民の間に定着してきた様で我々若者の一員として喜びにたえません。

この様な祭りが我々の手で夏にも出来ないうるか

時、恰かも夏、暑さのおとずれを感じ始める頃 小樽港の水辺にも涼を求めて人々が集る そんな時と処を得て若いエネルギーをぶつつけてみたいと存じます。

山あり、海あり、水が旨く、魚も旨い、坂は緩急の変化に富み自然の摂理がこれほど整つた街は無く 手造りのランブを売る店、小樽焼などの焼物、古い倉庫を改造した喫茶店やライブハウス超現代的な劇場等々、独自の文化も育つて来ています。

小樽は真の意味で、人間らしく生きて行ける日本でも貴重な街の一つでありますよう。

この街で生まれ育つたその故里で市民と共に若いエネルギーを発散させてみたいと思います。

小樽の祭りを見ると只今現在、水辺を使つたものは見当たりません。

手造りの文化…水辺…我街小樽

この三つをテーマに今度の祭りを成功させようと思気こんでおります。

然し、もとより皆様方の深い御理解、御協力、御支援を抜きにしては考えられることでは御座いません。若人の熱気を噴出させ、息吹きで街を溢れさせようとする私共の趣旨に御賛同いたしません様、御願い申し上げます。

ポートフェスティバル実行委員会一同

実行委員会

連絡先

川見橋 32-8937 佐々木

スリズ・ブッシュ・マーケット 32-5916 渡辺

企画書

二三年前、小樽には古い倉庫を改造した喫茶店を始め、舞踏派、ライブハウス等新しい小樽の文化の動きが出ている。これらの文化の動きと昔からの小樽の伝統を合致させ、港を中心に祭りを開いて見ると四月に実行委員会を発足させ、準備を進めていく。「水辺の祭り」と発想は単純でも「千代田の文化、山が街、水辺の祭り。」のテーマは「さくらまつり」の祭りにしたいと計画していく。

メイン会場は北海製罐倉庫横の旧税関跡地の広場を使用し、フォーク、ロック等のコンサート企画していく。地元バンド以外にも有名歌手数人にも出演してもらいコンサート盛り立てていくと思っていく。

主会場から月見橋を渡って水上警察署までの市道には数多くの屋台（焼きそば、お好み、おでん等）おぼけ屋敷、古物、古本市、おもちや屋、鮮魚、野菜の売店、市内有名小売店の出店、また各種競技大会（運河マラソン大会）絵と写真の展示会を行っていく企画していく。運河沿いの道道小樽稲穂線（静宮橋 - 中央橋間）も（現在交渉中）市道同様各種の屋台等を出して祭りを盛りたてていくつもり。

予算としてはホスト・フェスティバルのシンボルマークを刷り込んだタオル、Tシャツを製作し、販売するほか、広く寄付をよびかけこれらの金で賄うつもり。

また実行委員会では祭りの益金の一部を市内の福祉

団体への寄付（サマウニオン、音の出る信号機の設置）へ去る予定。少しは多くの益金を作りたいと思っており、市民のみなさんへ祭りの協力をお願いする。其に出店等を現在募集しております。こちらの方への参加をお願いしたいと思っております。

ホスト・フェスティバル実行委員会

期間

7月8日（土） PM 3:00 ~ PM 10:00

7月9日（日） AM 10:00 ~ PM 10:00

78'PORT FESTIVAL IN OTARU

まつり煙

CAR PORT

フェリーのりば

中央橋

↑ 小樽駅

目黒橋

龍宮橋

↑ 龍宮神社

まつり広場
コンサートを中心としたステージ
での催しの会場。まつりの
メインになる場所

まつり水辺
アートのまつりを開催
する場所

まつりまち
屋台、たき火、のみもの屋を
並べた歩行路

まつりばし
橋の上は、出会いと
集いの場

まつり倉庫 (3棟)
倉庫の中で展示会や
イベントなどの催し

↑ 龍宮屋

